

# 神々の宿る島 インドネシア・バリ島



6月21日(火) 菅生小学校で、国際理解出前講座を開催し、6年生51人が参加しました。講師は、インドネシア・バリ島出身の山口ニワヤンリンポンさんです。インドネシアは1万3千以上の島からなり、2億7千万人が暮らしています。

バリ島は「神々の島」とも呼ばれ、ヒンドゥー教と土着の宗教が混ざり合った独特の伝統的な文化が息づいています。

今回は初めての試みとして、バリ島の少女を題材にした本の読み聞かせをしました。毎日神様にお供えとお祈りをすることや、宗教の授業があることなどが紹介され、日本の子どもの生活との違いに児童たちは興味津々の様子でした。



インドネシア語とバリ語のミニ講座で、「ありがとう」や「さようなら」を習ったり、民族衣装の着方を見学したりもしました。

結婚式や葬式、新年のお祭りなどのバリ島独特の文化のお話や、成人式では歯を削る慣習があることなど、たくさんの文化の違いを学ぶことができたようです。